

田迎の史跡めぐり

シリーズ②

日向街道は熊本から宮崎県延岡する道路で二本のルートがあった。一本は新町元標から薩摩街道と共に長六橋を渡り薩摩街道は迎宝町通り川尻口へ、日向街道は迎大工町を通り御船口へ入り、春竹、萩原、田迎、鯰、御船、木倉、浜町、馬見原を過ぎ、宮崎県高千穂から延岡へ通ずる約三十四里（一三六km）の道である。今一つは長六橋から白川南岸を通り大江、保田窪、小山、戸島を抜け、現在の空港の南側を通り、西原布田から外輪山を越え久木野、高森間の南郷谷を過ぎ高森峠を上り、日向岩袖神社へと高千穂で合流して延岡への三十五



日向街道

ども達に参加して欲しい
と思いました。

一月十五日土曜日、小雨の降るとても寒い中、田迎名の内公園で毎年恒例の田迎一・五町内「どんどや」が開催されました。八時過ぎから自治会、消防団の皆さんのが集合し、ぜんざい配布用のテントを建てたりと手際よく準備を進められ、あつという間に立派な櫓が出来

ましたが、櫓の周りを小さな子どもからお年寄りの方までたくさんの方が囲み、地域の人たちが楽しみにしている行事である事が分かりました。天を焦がすような真っ赤な炎が上がり、竹の「バーン」と割れる大きな音が鳴り響き、櫓が崩れると毎年一年の無病息災を願いながら竹に付いた餅

どんどうや

上りました。雨で準備が

二町内
どんどうや

當時の道幅について予想出来たのが伝承されている。細川光利公(光尚)が鷹狩りに出て弥山(良間)現在の良町を通られる時、甲佐早川の百姓が牛の背に米六斗を負わせて通りかかり、怠いで牛を田圃に引き入れようとしたとき、殿様は自ら田圃へ下牛を通してやられたとの話は藩政を物語る逸話であると同時にことが出来る話である。

せんざいの振舞が行われた。
せんざいに使用された餅は、
九日(日)に親子三代もちつき
大会で子どもがついた餅であ
る。
この両道は別名の御船往還、南
か有名で最も知られている。

え上がり、天高く炎をふき上げていた。周りにいた子どもや地域住民は燃え盛るやくらを取り囲み、一年の無病息災と五穀豊饒を願つて炎にあたっていた。

方々は公園内でせんさいを配る用意をしていた。参加者は約三百名程で代表の子ども達の手によつて午前十時に点火された。点火された瞬間に炎は燃

一月十日(月)二町内のどんとやが出仲間公園において行われた。当日は小雪の降る寒い日であったが地域住民はしめかざりを持つてぞくぞく集まつて来た。

消防団によつて、やぐらが作られ、子ども会の役員の

今日は、EM菌を流すの手云つて、さぞき、あり

新編
夷語

これらの建設工事は、二十四年度まで続けられる。それと並行して、外構工事や造成工事が行われて、校名の決定や通学路の決定、服装決定等が行われるとの事である。平成二十五年度に校章や校歌が決定されて、新設校が開校される予定の事である。

どんな校舎が建設されるか楽しみである。

田迎小の分離新設校は第二期造成工事が終了して、現在は廃水工事が行われてゐる。

田迎小分離新設校建設の現況

内村 妃中子

今日は、ほんとうに私た
ちの手つだいとか、E.M.菌
のことを教えてくださいって、
ありがとうございました。

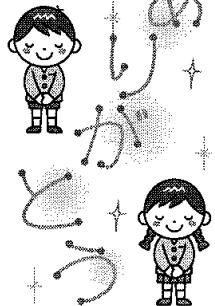
本当に田迎は、いい人ばかりだなあと思いました。
本当にありがとうございました。

ら有明海まで流れ、ぐんぐんとて知りませんでした。それに、きれいな鯉や魚がいてとてもきれいな川でした。

私は、ずっと鯉や魚とかいてほしいから、ゴミとか捨てない様にします。

次の五年生から、ずっとこの活動を続けて、きれいな川でいてほしいです。

EM田子作り EM田子
投入、お世話になりました。
団子を作つた時は、オレ
ンジ色だつたのに、投入す
る時は白カビだらけだつた
ので、びっくりしました。
それから、川をきれいに
するのに、二時間前から、
そうじをしていたと、聞い
たときびつくりしましょ。



◎毎日、寒い日が続きます。インフルエンザも流行しています。体調には、充分気をつけて、お暮し下さい。